

日本で育つ熱帯花木植栽事典・初版第1刷正誤表

頁	位置・行	誤・不適切→正・より適切	備考(補足・注記を含む)
見返		口永良部島の着色(9bの水色)→10bの橙色	★初版第2刷では訂正されている。
見返		地名「八丈島」の位置を2cm南へ	★初版第2刷では訂正されている。
(9)	左3	Curtis→Curtis's	
(9)	右1	写真説明→写真説明の例	
(9)	右7	種学名(変種・交雑種・園芸品種含む) →種小名	種学名、すなわち種名は「属名+種小名」の組合せで表 現される ものであり、用語として不適切だった。
(9)	右8	種学名→種小名	同上。
(10)	4	Curtis→Curtis's	
1		Abutilon hybridum→Abutilon ×hybridum	以下5頁まで同様;709-710頁も同様。
3	左上	Abutilon milleri→Abutilon ×milleri	710頁も同様。
7	上	auriculaeformis→auriculiformis	左下と712頁も同様。種小名綴り変更は「命名規約」の規定による。
11	右下	podalyriaefolia→podalyriifolia	713頁も同様。種小名綴り変更は「命名規約」の規定による。
27	上	ホースシー→ホセウシー	719頁も同様。種小名は、タイで植物採集したドイツの植物学者ホ セウス(C. C. Hosseus)にちなむ。
32	上	Albizzia→Albizia	左下・右下および721頁も同様。Albizziaは異綴り。
33	左下	Allamanda sp.→Allamanda laevis	
35	左上	アリアケカズラ→オオノサアリアケカズラ	
	右下	スコッティ→シヨッティ	723頁も同様。シヨット(Schott)という人名にちなむ。
48	左上	ブラシリエンシス→ブラジリエンシス	730頁も同様。
50	左上	westlandi ウエストランディ →westlandii ウエストランディー	731頁も同様。種小名は、19世紀のキュー王立植物園の庭師ウエス トランド(A. B. Westland)にちなむ。
	右上	ストウルテヴァンティ →スターティヴァンティ	731頁も同様。変種小名はスターティヴァント(Sturtevant)とい う人名にちなむ。
54	柱	Baikaea バイカエア→Baikiaea ベイキアエア	734頁も同様。属名は、ニジュール探検に随行したベイキー(W. B. Baikie)にちなむ。
	上	Baikaea→Baikiaea	下と734頁も同様。
56	上	ジャイアント・キャンドルス →ジャイアント・キャンドルス	735頁も同様。
74	上	ウイダリアヌム→ビダリアヌム	744頁も同様。種小名は、スペインの植物学者ビダル・イ・ソレル (S. Vidal y Soler)にちなむ。
79	右中	'Rosevilles Delight'→'Roseville's Delight'	747頁も同様。
	右中	ローズヴィルス・ディライト →ローズヴィルズ・ディライト	747頁も同様。
92	上	acerifolium→acerifolius	左下・右下と750頁も同様。属名Brachychitonの性は男性。
103	右上	チャールズ・グリマルディ →チャールズ・グリマルディー	753頁も同様。人名の姓Grimaldは「グリモールド」とカナ表記す ることもある。
106	右下	hydrangeaeformis→hydrangeiformis	755頁も同様。種小名綴り変更は「命名規約」の規定による。
	右下	ヒドラングエアフォルミス →ヒドラングエイフォルミス	755頁も同様。
110	右上	ブラシリエンシス→ブラジリエンシス	756頁も同様。
	左下	コルヴィレイ→コルヴィレイ	756頁も同様。種小名は人名にちなむ。
116	右上	ブーレ・マークシー→ブルレ・マクルシー	761頁も同様。種小名はブラジルの著名な景観・庭園設計家Roberto Burle-Marx(1909-1994)にちなむ。
122	上	セロイ→ゼロイ	右下・123頁上と762頁も同様。ドイツの園芸家ゼロ(F. Sello; Sello とも綴る)にちなむと思われる。
130	上	capensis ケーペンシス→capense ケーペンセ	765頁も同様。属名Calodendrumの性は中性。capenseは「カペ ンセ」とも発音される。
164	左下	newellii→newellii	778頁も同様。
165	柱	カメラウキウム Chamaelaucium →カメラウキウム Chamelaucium	778頁も同様。Chamaelauciumは異綴りとされ、より早く出版され たChamelaucium(1819年)が用いられる。
	上	Chamaelaucium→Chamelaucium	下と778頁も同様。
176	上	クリウウア→クリウーヴァ	177頁下と784頁も同様。種小名「criuva」はブラジルの地名に由来。

表中の「命名規約」とは『国際植物命名規約2000』(2000年発行)のことである。

頁	位置・行	誤・不適切 → 正・より適切	備考（補足・注記を含む）
198	右下	cyanaea キアナエア → cyanea キアネア	795頁も同様。
212		リヴァース → リヴァーズ	802頁も同様。人名「Rivers」の発音では語尾は「ズ」とにごる。
219	下	ワッティ → ウオッティ	807頁も同様。種小名は、人名ウオット (Watt) にちなむ。
229	左上	ファイリデイゴ → ファイリデイコ	
234	左上	ブレイシアナ → ブライシアナ	種小名は、オーストラリアで活躍したドイツの植物採集家ブライス (L. Preiss) にちなむ。
259	柱	ガルデニア → ガーデニア	260頁の柱と820-822頁も同様。属名は、米国の植物学者ガーデン (A. Garden) にちなむ。
284	左上	cv. '福寿' → '福寿'	「cv.」と「'」とを併用表記することはできない。
	中上	cv. '東美人' → '東美人'	同上。
	右上	cv. '桃の輝' → '桃の輝'	同上。
285	右上	cv. '白玉' → '白玉'	同上。
309	左上	アダ・アーウィン → エイダ・アーウィン	
	右中	アーチェリー → アーチェリ	842頁も同様。園芸品種小名は人名アーチャー (Archer) にちなむ。
314	左上	'Cooperii' → 'Cooperi'	843頁も同様。
316	右中	ワッジー → ワジー	fuzzy-wuzzy は英語辞書に載る言葉で、この園芸品種の花の様子を形容したものと思われる。
318	上	シャーマン → シュアマン	844頁も同様。
326	左上	レッド・ボン → レッド・ボム	846頁も同様。
354	上	Ixora × 'Super King' → Ixora 'Super King'	363頁上と853頁も同様。園芸品種小名に交雑記号をつけることはできない。
355	右上	ドゥフィー → ダフィー	358頁・359頁上下と852頁も同様。種小名はDuff (ふつうダフと発音) という人名にちなむ。
362	上	Ixora × 'Southern Red Star' → Ixora 'Southern Red Star'	853頁も同様。園芸品種小名に交雑記号を付すことはできない。
369	柱	ジャクエモンティア → ジャクモンティア	855-856頁も同様。属名はフランスの探検家でナチュラリストのジャクモン (V. Jacquemont) にちなむ。
381	上	ブラシリアナ → ブラジリアナ	860頁も同様。
	左下	リチーニ → リチーニー	860頁も同様。
391	下	loudoni → loudonii	866頁も同様。種小名は人名 (Loudon) にちなむ。
415	上	キサントコヌス → クサントコヌス	右下および876頁も同様。
457	下	ムクゲノボタン → ムクゲノボタン (オオナンヨウノボタン)	894頁も同様。
470	右下	albertisi → albertisii	900頁も同様。種小名は、マレー諸島やニューギニアを探検したイタリア人 (L. M. d'Albertis) にちなむ。
	右下	アルベルティシ → アルベルティシー	900頁も同様。
493	柱	ニマニア → ニューマニア	494頁と910頁も同様。属名はスウェーデンの植物学者ニューマン (C. F. Nyman) にちなむ。
502	右上	olivaeformis オリウァエフォルミス → oliviformis オリウイフォルミス	917頁も同様。種小名綴り変更は「命名規約」の規定による。
	下	castaneaefolia カスタネアエフォリア → castaneifolia カスタネイフォリア	917頁も同様。種小名綴り変更は「命名規約」の規定による。
516	左下	mendoncaei メンドンサエイ → mendoncae メンドンサエ	926頁も同様。種小名はポルトガル人名メンドンサ (Mendonça) にちなむ。綴り変更は「命名規約」の規定による。
518	右上	ヘレリー → ヘレリ	926頁も同様。種小名は人名ヘラー (Heller) にちなむ。
556	柱	プセウドエランテムム → プセウデランテムム	以下559頁までと941頁も同様。
	上	ovarifolium → ovalifolium	右下と557頁左下、および943頁も同様。
573	柱	リーヴェシア → リーヴェジア	953頁も同様。属名は中国で植物採集したリーヴズ (J. Reeves) にちなむ。
579	右下	oldhami → oldhamii	956頁も同様。種小名は人名オルダム (Oldham) にちなむ。
582	柱	ロンデレティア → ロンドレティア	958頁も同様。属名はフランスの植物学者で魚類学者ロンドレ (G. Rondelet) にちなむ。

頁	位置・行	誤・不適切→正・より適切	備考(補足・注記を含む)
591	左下	scholeseï ショレセイ	ショレセイという読みは適切か? (963頁も同様)。本種を <i>Ruttya fruticosa</i> 'Scholeseï' とみなす文献もある。
593	右下	パルヴィブラクテアタ → パルウィブラクテアタ	
627	右上	periplocaefolium ペリプロカエフォリウム → periplocifolium ペリプロキフォリウム	980頁も同様。種小名綴り変更は「命名規約」の規定による。
648	右上	バルテリ → バーテリ	989頁も同様。種小名は人名バーター (Barter) にちなむ。
666		thetvetuoudes → thevetioides	667頁上も同様。
674		⑬ <i>Thunbergia mysorensis</i> マイソレンシス → ⑪ <i>Thunbergia laurifolia</i> ラウリフォリア	★初版第2刷では訂正されている。
689	右上	クミンギアナ → カミンギアナ	1002頁も同様。種小名は人名カミング (Cuming) にちなむ。
694	柱	ウィルギリア → ヴァージリア	1006頁も同様。属名は、ローマ時代の詩人ウェルギリウスの英語表記ヴァーシル (Virgil) にちなむ。
705	右1	日本植物分類関係文献目録 → 日本植物分類学文献目録・索引   1973-1982	
	右12	The Encyclopedia of Horticulture → The New York Botanical Garden Illustrated Encyclopedia of Horticulture	
706	右11	(財) 海洋博覧会記念公園都市緑化植物園 → (財) 海洋博覧会記念公園管理財団都市緑化植物園	
	右22	種学名 → 種小名	31行目・32行目も同様。
	右29	学名は → 異名は	
707	右13	綱 G・ネットワーク (小島裕) …以下3行削除	★初版第2刷では削除されている。
	右34	auctorm → auctorum	
	右36	comb. nov → comb. nov.	combinatio nova の省略形。
708	13	subsp. → subsp. (ssp. とも略記)	
	17	園芸品種名 → 園芸品種小名	園芸品種名は「学名+園芸品種小名」で表現される。
711	左29	'Heren' → 'Helen'	
	左36	'Red Princes' → 'Red Princess'	
714	左21	Delile. → Delile	学名の著者名は略記されることが多いが、「Delile」(ドゥリール; フランスの植物学者) は略記ではない。
715	右3	種子島で → 種子島では	
717	左7	土壌が深ければ → 土層が深ければ	
720	右11	下方から順に → 基部から順に	
721	右13	( <i>Albizia</i> Auct.) を削除	「 <i>Albizia</i> 」は異名ではない(上記32頁の項参照)。
723	右10	sp. → <i>laevis</i> Markgr.	
	右13-14	導入されたが、(あるいは) 未記載の新種。 → 導入された。	
725	左23	アオノクマタケラン <i>Alpinia intermedia</i> Gagnep. → クマタケラン <i>Alpinia formosana</i> K. Schum.	
730	左21	Tourn. ex L. → L.	種子植物およびシダ植物の学名の出発点は、リンネの『植物の種』(1753年)なので、ふつうは「Tourn. ex L.」のように1753年より前の命名者名を引用しない。
732	左8	10a → 9b	地図内の「10a」も「9b」に変更。図示された範囲も変更になる(見返地図を参照)。
	右4	ゼロイ → ゼロイ	上記122頁の項参照。
741	右5	(Tourn.) L. → L.	前リンネの学名を基礎異名として示す場合に「(Tourn.) ex L.」と著者名を引用することもある。
745	右5	Spach → Comm. ex Juss.	
754	右5	Plum. ex L. → L.	上記730頁の項参照。
755	右29	Houst. ex L. → auct.	
761	右20	ゼロイ → ゼロイ	上記122頁の項参照。

頁	位置・行	誤・不適切→正・より適切	備考(補足・注記を含む)
763	右8	切り花用が→いけぼなの枝物として	
768	右16	Rumph. ex Hook. f. & Thoms. →(DC.) Hook. f. & Thoms.	
769	左	→	16行目と17行目の間に英名 (Shrubby Ylang-ylang) を挿入。
	左17	2m →3m	
770	左5	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
	左14	未熟果が俗に→つぼみが俗に	
771	右5	Tourn. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
	右5	Tourn. ex Mill. →Mill.	上記730頁の項と同様の例。
	右6	Moench, →Moench	学名の著者メンヒ (C. Moench) はドイツの植物学者。
777	右15	西インド原産。→西インド諸島原産。	
778	左7	葉には毛があり→葉は無毛で	
789	左20	P. J. M. Maas →L.	
793	右5	Dill. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
797	右7	Royen ex L. →L.	上記730頁の項参照。
798	左18	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
800	右13	脈部の全部が→上面の脈部が	
809	左4	ウイルウイリ<ハワイ名 Wilwilli> →ウイリウイリ<ハワイ名 Wiliwili>	
	左9	タヒチ原産で赤花のE. tahitensis Nad. と混同されることもある。 →最近、タヒチ原産で赤花のE. tahitensis Nad. と同種とみなされている。	
812	左5	(Tourn) L. →L.	上記741頁の項参照。
820	右25	Ellis. →Ellis	
823	左5	H. B. et K. →Kunth	
827	右28	Hook. et Harv →Hook. et Harv.	
828	右5	S. A. Mori →L.	
835	右5	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
836	左26	本種に似て分類的には同じであるが、 →本種に似ているが、	
842	左26	ガルト→ゴルト	Galt は人名の姓でふつう「ゴルト」と発音される。
843	左19	クーベリー→クーベリ	
856	左13	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
857	左27	Soland. →(L.) Ait.	「命名規約」(46.Ex.24) による。
859	左18	Houst. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
866	右30	ルードニ→ラウドニー	
869	左23	果実が赤熟する。→果実が(赤)紫熟する。	
872	左6	アオイ→ムクゲ	
	右28	S. A. Mori →Loefl.	
877	左5	Humb. et Bonpl. →Bonpl.	
879	右9	H. B. et K. →Kunth	
884	右26	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
885	右17	Dill. ex Adans. →Adans.	上記730頁の項と同様の例。
893	左26	Burm. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
894	左17	ムクゲノボタン →ムクゲノボタン、オオナンヨウノボタン	
	右14	繁殖は種子→繁殖は実生	
895	右6	Euqenia →Eugenia	
898	右7	Legumiosae →Leguminosae	
903	右23	Burm. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
913	右3	Miell. →Müll.	

頁	位置・行	誤・不適切→正・より適切	備考(補足・注記を含む)
922	左19	Spach →(Endl.) Spach	
923	左5	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
928	右5	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
930	左32	Houst. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
	左32	B. Juss. ex Juss. →Juss.	
933	左18	Tourn. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
934	左25	Tourn. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
937	左5	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
938	左5	P. Br. →P. Browne	Brownは通常「Br.」と略記されるが、Browneは略記されない。
943	右10	(H. B. & K.) Dugand →(Kunth) Dugand	
946	左18	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
951	左5	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
954	右7	『千種え花』 → 『千種之花』	
956	左43	オールダミ → オールダミー	
960	左29	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
969	左19	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
973	左21	(Tourn.) L. →L.	上記741頁の項参照。
988	右32	Plum. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
990	右17	Tourn. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
1002	右12	Houst. ex L. →L.	上記730頁の項参照。
1009	右23	Smp → Smith	Smithは「Sir James Edward Smith」のことで、たんに「Sm.」とも略記される。
1010	右5	H. B. & K. → Kunth	
1011	左7	H. B. & K. → Kunth	
1023	右	Dracaena Draco → Dracaena draco	写真説明を左のように訂正。
1028	右	→ →	23-24行目：『小笠原植物図譜—増補改訂版—』(2003年)によれば固有種の数に変動がある。
1029	左6	サンダンカ → サンタンカ	
1072	5	Acacia auriculaeformis → Acacia auriculiformis	
1089	47	(ブッピンルイシツ) → (ブツルイヒンシツ)	
1091	10	葩苳 → 萆苳 (または 華撥)	1092頁18行目も同様。
1097		→ →	「熱帯花木が見られる世界の植物園ガイド」は1998年現在のデータに基づいている。
1131	左8	(年間降雨量 166mm) → (年間降雨量 1660~1700mm)	
1135	35	相賀徹夫編著 → 塚本洋太郎総監修	
	35	全6巻 → 全6巻 (同コンパクト版、全3巻、1994)	
1137	7	Mabberley D. J.: → Mabberley, D. J. (1993):	第二版 (Second edition) が1997年に出ている。

## 附記

1998年に本書を世に問うて早5年の歳月が過ぎた。当初、このように大部な書が読者に受け入れられるだろうかと危ぶんだが、幸い初版第1刷が品切れとなり、こうして増刷の機会を与えられたのは著者冥利に尽きることであり、支持して下さった読者諸氏に深く感謝を申し上げる。

初版第2刷としての増刷であるから、本文の内容は初版第1刷とほとんど変りはないが、ただ4か所だけ、この機会に訂正を加えた。具体的には「正誤表」にも記しておいたが、表紙見返しに掲げた「日本ハーディネス・ゾーンマップ」の部分的ミスと(2か所)、写真説明(674頁)の誤りを正したほか、「苗木入手の難易度について」(707頁)に記した業者名(廃業)を削除したことである。

これらのほかで、刊行以来著者らが気づき、あるいは熱心な読者からのご指摘により判明した誤りについては、「正誤表」という形で巻末に附し、読者に提供することにした。機会があるごとに訂正版を出すことができれば著者としては嬉しいが、そうはいかぬ諸般の事情もある。また初版第1刷をお持ちの読者に対して便宜をはかる意味でも、「正誤表」を別に附すのが望ましいと考えたしだいである。

「正誤表」とはいうものの、必ずしも誤りとはいえないものも含めてある、と申し上げておきたい。たとえば学名の著者名の引用に関するものなどであるが、さもなければ読者の混乱を招くかもしれない、という恐れを抱いたがゆえの措置である。

[編著者]